

## 子育て世代支援の ワンストップサービス 拠点を開設

市は先月1日、妊娠・出産から就学前まで、継続して子育て世代の支援を行なう子育て世代包括支援センターすくすくを開設しました。

すくすくでは、子育て世代が悩みや不安を抱え込まず子育てできるように、保健師、保育士、助産師、家庭児童相談員などの専門職が常駐し、さまざまな相談に応じています。

出産や子育ての不安を軽減する妊婦を対象としたマタニティスクール、産後の母体トラブルを緩和するセルフケア教室なども開催し、妊娠から出産、子育て期まで各段階に合わせたサポートも行なっています。



▲開設を祝い、天満祥典市長と梅本秀明市議会議員が看板を除幕しました

開所式では、社会福祉法人の協力によって制作された木製の看板が披露され、市内の保育園児が合唱で開所を祝いました。

すくすくでは、祖父母を対象とした育児教室なども開催し、子育て世代が安心して子育てできる環境の整備を進めていきます。

☎子育て世代包括支援センター

すくすく

☎0848・67・6217

## 築城450年の盛り上げへ 市役所にたる型と城型の 募金箱を設置

市や関係団体で組織する瀬戸内三原築城450年事業推進協議会(勝村善博会長)は先月1日から、築城450年事業を市民の皆さんと一緒に盛り上げるため、市役所本庁と各支所に募金箱を設置しています。

本庁1階には株式会社酔心山根本店から提供を受けた酒だるで制作した募金箱、各支所1階には三原城の天守台をモチーフにした城型の募金箱を設置しました。本庁のたる型募金箱後ろの柱には、小早川隆景やよっさだるマンを描いた、事業をPRするラッピングを施しました。  
集まった募金は、築城450年事業

に関連した活動を行なう市民活動団体の支援などに使わせていただきます。  
来月2月にメイン期間のスタートを控えた築城450年事業を市を挙げて盛り上げていくため、市民の皆さんのご協力をお願いします。



▲市役所本庁にたる型、各支所に城型の募金箱を設置しました

☎築城450年事業推進担当室

☎0848・61・0450

## 県立広島大学 助成事業の研究成果を 発表

市は先月7日、県立広島大学研究開発助成事業の成果発表会を開催しました。

この事業は県立広島大学の研究者が所有する知的資源を活用し、地域活性化や地域課題の解決が期待できる事業の研究開発に対して助成するものです。

今年度は、葉草の成分分析と栽培技術、動物介在活動による身体的・心理的効果の研究などについて、成果が発表されました。

「三原発『The Zenセラピー』」の開発に向けたシーズ調査」と題した研究では、保健福祉学部理学療法学科の長谷川 正哉准教授が、住民組織「もみじの郷」と連携し、佛通寺とその周辺環境を利用した心身健康増進プログラムの実用化を検討。佛通寺周辺でのノルディック・ウォーキング、座禅体験会を実施し、健康増進の可能性を調査しました。

市では今後も県立広島大学と連携し、地域課題の解決や地域活性化につながる事業の実現に継続して取り組みます。



▲県立広島大学の教授らが研究開発助成事業の成果を発表しました

☎経営企画課

☎0848・67・6270